



DISTRICT 2500

# OBIHIRO ROTARY CLUB

No. 2760

第3078回例会

平成19年8月22日

2007-08年度国際ロータリーのテーマ／ROTARY SHARES(ロータリーは分かち合いの心)

方針 誠心誠意 会長 奥 周盛

## ■プログラム

### 「新会員卓話」



(プログラム委員会)

田巻 成男会員

昭和28年（1953年）10月、新潟県燕市生まれ。昭和28年というは、日本でテレビの本放送が始まった年です。

力道山の活躍や皇太子殿下（今上天皇）のご成婚、東京オリンピックからケネディ大統領の暗殺、アポロの月面

着陸まで、田舎の少年にとってはテレビが“社会との接点”であり“情報の蛇口”でした。テレビの歩んできた歴史が、そのまま自分史に重なるという意味で、不思議な因縁を感じています。地元の大学に進み、卒業するまで故郷の新潟で過ごしました。

社会に踏み出すにあたって私が選んだのは「報道」という職業。さまざまな分野の方々と直接会いたい、激動する社会のいろんなシーンをこの目で確かめたい、というのが一番の動機でした。

昭和53年（1978年）にニュースカメラマンとしてNHKに入りました。最初の赴任地は四国・高知。その次は沖縄でした。本土復帰10年目。まだ戦後が色濃く残っていました。日本がバブルに向けて助走し始めたころです。沖縄は島全体が基地でした。もし沖縄に行く機会があったら、ぜひ基地のある町をたずねていただけだと思います。北海道の人なら、共感できるなにかを発見できると思います。

その後、東京の報道局に異動し、一貫して緊急報道にたずさわってきました。この間、仙台・札幌・東京・釧路・札幌と勤務し、このたび帯広に参りました。

「湾岸戦争」や「昭和天皇の崩御」「地下鉄サリン事件」等の取材がとりわけ印象に残っています。また、「NHKスペシャル」「クローズアップ現代」などの大型番組担当デスクや番組編成業務なども経験しました。さまざまな取材の中、とりわけ自然災害の現場ではいろいろと考えさせられました。「伊豆大島三原山噴火」「雲仙普賢岳噴火」「阪神淡路大震災」「三宅島噴火」等々を現場取材やデスクとして経験しました。災害現

場は取材するほうもいろんな意味で辛いのですが、その一方、人間の底力やすばらしさにも出会います。災害のダメージから真っ先に立ち上るのは被災者自身です。被災者同士の共感や助け合いが復興へのスタートとなります。また地元自治体の奮闘もすばらしい。一番遅れて重い腰を上げるのは中央（国）です。情けのある粋な計らいやスピーディーな対応は苦手なようです。国民の生命と財産を守るのが政治の基本です。政治は弱者に対して「自己責任」という言葉を使うべきではない、と私は感じています。

このようにして私はテレビとともに30年近く生きてきました。今後とも微力ながらロータリークラブのお役に立てばと考えています。どうぞよろしく。



島田 哲男会員

昭和32年5月3日静岡生まれ。米山梅吉先生のいらっしゃった長泉町の長泉小学校に入学しました。学校の図書館にある米山文庫の存在は知っていましたが、一度も読んだことはありませんでした。もしあのときに帯広ロータリークラブに入会することがわかっておれば1冊くらいは読んだかもしれません。この場をお借りして反省をする次第であります。

父が若いころから陸上競技をやっていた影響もあり小学2年から毎朝マラソンをしておりました。中学、高校、大学と陸上部に在籍。高校は沼津東高校と言ってこれまで米山梅吉先生の入られた旧制沼津中学。井上靖、芹沢光治良などの文学家を輩出し、新制高校になってからもパンカラな伝統を引き継いでおりました。

東北大学工学部を経て。昭和55年に日産自動車に入社し、フォークリフトの設計を手がけました。日産自動車在籍27年間のうち18年は開発業務に従事。販売に携わることになったのは、昭和60年から2年間、福井日産自動車に出向し、経験したのが最初です。

開発の仕事は新しいものを創造し具現化する喜びがあります。業務の中で数十件の特許を出願いたしましたので、実際に今でも自分の開発した車両が活躍しているの

を見ると、『俺が作った』と喜びを感じております。

その一方で、販売の仕事に興味を覚えたのは、開発は数年間という長期間を経て世の中に出して結果を得るのに対し、販売は短期間の努力や工夫により結果を出せること、そしてその結果ははっきりと数字で表される点により魅力を感じたからです。

販売出向から帰任後、開発での設計、商品計画業務に従事した後、希望する本社の国内営業部に異動。そこで6年半過ごし、また開発に戻り、さらにその6年半後の今年の4月に帯広日産自動車にたどり着きました。ほんとうに自分のやりたいことがあれば、決してあきらめないで求めていけばその道は必ず開かれる、そんな実感があります。

趣味についてもお話します。陸上競技はもはや競技者ではありませんが、体を動かすことは楽しみのひとつ。昭和58年には、トライアスロンに挑戦。水泳3キロ、自転車133.6キロ、マラソン40キロを7月末の気温34度の日に12時間かけて完走したのがよい思い出になっています。スキーバダイビングやスカッシュなどもやります。昨年、一昨年には連続して富士登山をしました。音楽は聴くことはもちろんですが、大人のピアノ教室に通い、楽しみ程度に数曲弾けるようになりました。アロマセラピーにも興味を持ち、今でも10数種類のエッセンシャルオイルの香りを楽しんだりしています。

今後も、仕事に趣味に、なんでも興味を持ってチャレンジしていく日々を過ごしていきたいと思います。

## ■会長報告

### 奥 周盛 会長

先週の土、日曜日に、北見で開催された2500地区の会員増強セミナー、ロータリー財団セミナー、米山セミナーには、当クラブから、地区の米山記念奨学会運営委員長の渡辺会員と会員増強委員の小田会員、ロータリー財団委員長の合田倫佳会員と米山奨学委員長の讃岐会員が出席。有意義な情報が得られたものと期待しております。

さて、今年の秋には十勝で大きな大会がいくつかあります。そのうちのひとつが、9月7、8日の建築士の全国大会。第50回というメモリアルな大会で、3千人の会員が全国から集まります。2年前、姉歯元建築士の構造計算書偽造事件に端を発した、建築士の職業倫理と社会的信頼回復の課題も本大会の大きなテーマのひとつ。

ロッキー事件当時、政治倫理について騒然となつた世相に対し、「リンリ、リンリとまるで鈴虫のようだ」と皮肉ったのは、田中角栄元総理大臣ですが、その鈴虫が未だに泣き止まぬご時世。ちなみに建築士の登録第1号は、田中元総理。

建築士全国大会の会場は、文化ホールととかちプラザ。ばんえい競馬を題材とした映画「雪に願うこと」の原作者である鳴海章さんの記念講演や、全国各地でまちづくりに活躍する建築士を紹介するパネル展や事例発表など、一般市民が参加できるプログラムもありますので、皆様にもぜひご来場いただき、建築士に対するご理解と関心を賜れば幸いです。

## ■会務報告

### 奥原 宏幹事

(1)帯広RC、移動例会（親睦家族野遊会）

日 時 9月2日（日）午前10時

場 所 札内俳句の村コース（パークゴルフ場・旧緑館隣） 9月5日（水）の繰り上げ例会

(2)帯広西RC、移動例会

日 時 9月2日（日）午前8時

場 所 旭山動物園 8月30日の繰り下げ例会

(3)帯広東RC、移動例会

日 時 9月2日（日）正午

場 所 十勝川温泉「第一ホテル」

9月4日の繰り上げ例会

・最近、本クラブの出席は好調ですが、メーキャップが少なく、出席率が低くなっています。メーキャップの仕方がわからない方は私が同じテーブルの先輩などに聞いていただきたいと思います。よろしく。

## ■委員会報告

・広報雑誌委員会

石原由美子 委員長

「ロータリーの友」の一読を。ロータリーとはなにか、全国のクラブの動きなどがわかるので、ぜひ、読んでいただきたいと思います。また、当クラブのホームページをリニューアルしました。楽しい作りにしたつもりですので、ぜひご覧ください。

・ロータリー情報委員会

渡辺喜代美 委員長

本年度第一回の情報集会を開きます。ぜひご出席を。今回のテーマは「もしあなたが〇〇クラブの会員だったら」です。また、規定変更などに関する資料をレターボックスに入れておきましたので、ご覧ください。

・親睦活動委員会

倉野 賢副 委員長

9月2日の野遊会の出欠をお知らせください。

・出席報告（時間の都合で省略）

出席委員会

8月22日例会、会員総数103名（出席免除会員10名）

出席総数73名 8月1日例会のメーキャップを含む

出席数及び出席率78名83.9%

・ニコニコ献金（時間の都合で省略）

## ■次週プログラム予定

ゲスト卓話 （プログラム委員会）

帯広水泳協会 真田 直樹様



例会日／水曜日 12:30～13:30 例会会場／ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●創立／昭和10年3月15日 ●認証番号／3820 ●戦後再開／昭和25年12月19日

事務局／帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行／クラブ会報 ●委員長／野村 一仁・佐藤 瞳浩・宇佐美暢子・神谷 昭典・薦井 秀明

増田 正二

●ホームページアドレス／<http://www.tokachi.co.jp/obihiro-rc/>

